

平成28年度決算がまとまりました

追いつめられる当健保組合の財政 9年連続の赤字決算に

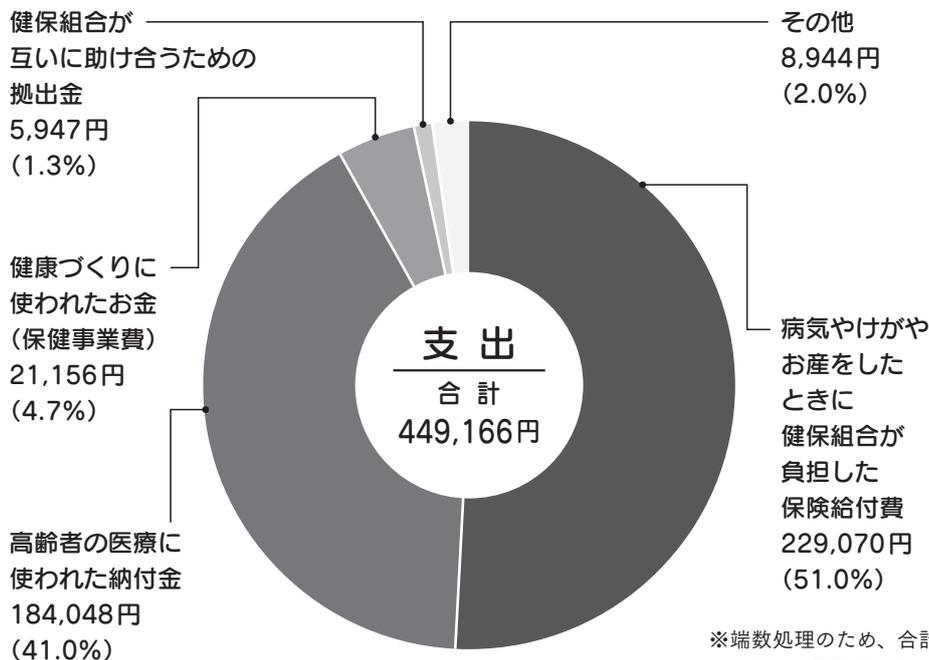
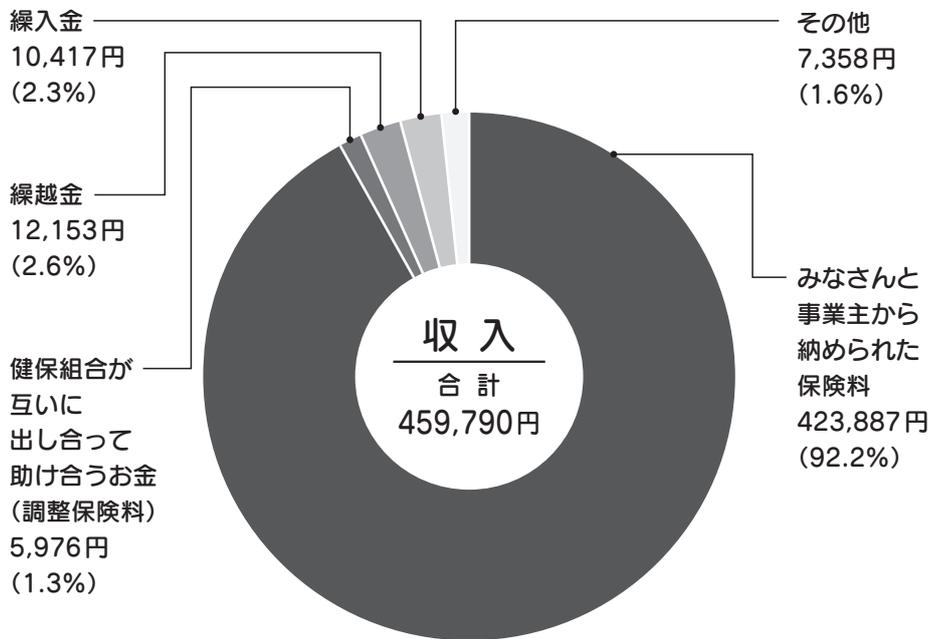
7月19日に開催された第111回組合会において、当健保組合の平成28年度の決算が可決・承認されましたので、お知らせします。

経常収支で約1億1千万円の赤字で終了

当健保組合の平成28年度決算は、収入総額26億4839万円、支出総額25億8720万円、収支差引額6120万円となりましたが、経常収支差引額においては1億568万円の赤字で終了しました。

赤字となった原因は、高齢者医療制度のしくみにあります。健保組合は私たち現役世代の医療費だけでなく、高齢者の医療費も負担していま

被保険者1人当たりでみた収支決算（健康保険）



※端数処理のため、合計の合わない箇所があります。

お知らせ

このほど、小林啓治常務理事が退任し、7月19日開催の組合会・理事会において佐々木一夫氏が常務理事に選任され、就任しました。



佐々木一夫常務理事

すが、このしくみがサラリーマンに過重な負担を強いる構造になっており、高齢者医療費の増大とあいまって、ますます負担が重くのしかかっています。健保組合は国に対し、この負担構造の改革を強く求めているものとみられます。

こうしたことから、みなさんには健保組合をめぐる情勢をご理解いただき、医療費節減にご協力を賜りましたら幸いです。年1回の健康診断の受診や日々の健康管理、医療機関への適正な受診などに心がけてくださいますようお願いいたします。

..... 平成28年度収支決算概要

●健康保険

【収入】

科 目	決算額 (千円)
みなさんと事業主から納められた保険料	2,441,590
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	34,419
繰 越 金	70,000
繰 入 金	60,000
そ の 他	42,384
合 計	2,648,393

【支出】

科 目	決算額 (千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担した保険給付費	1,319,445
高齢者の医療に使われた納付金	1,060,117
健康づくりに使われたお金 (保健事業費)	121,860
健保組合が互いに助け合うための拠出金	34,254
そ の 他	51,520
合 計	2,587,196

●介護保険

【収入】

科 目	決算額 (千円)
みなさん*と事業主から納められた 介護保険料	270,224
繰 越 金 等	7,547
合 計	277,771

【支出】

科 目	決算額 (千円)
国に納める介護納付金	276,387
介護保険料還付金	23
合 計	276,410

*介護保険第2号被保険者たる被保険者等

保険料収入の4割以上を 占める高齢者医療費への負担

収入では、みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入が前年度より7719万円減少の24億4159万円となりました。保険料収入だけでは、支出をまかなうのに十分ではないことから、積立金からの6000万円などで収入の不足にあてています。

支出では、みなさんが病気やけがにかかったときの医療費などとして保険給付費が同比455万円減少の13億1945万円となりました。高

齢者の医療費としてあてられた納付金については10億6012万円となり、前年度に比べて1億7619万円減少しているものの、保険料収入の4割以上を占めるなど、重すぎる負担となっています。

このほか、各種健診の費用補助やみなさんへの健康情報の提供などの保健事業費は、同比336万円増加の1億2186万円となりました。

厳しい財政状況のなかでも、みなさんの健康づくりに役立つ事業は今後も積極的に行ってまいりますので、どうぞご活用ください。

